

令和2年度 図書館の活動目標取組状況

活動目標	取組状況
(1) 市民のニーズや地域の課題に対応したレファレンス・サービス（情報提供等）の実施	・専用レファレンスカウンターにて書名の検索から書架への案内、書籍やインターネットを利用したの調査まで含め、細やかな対応を行った。 レファレンス件数 1, 528件
(2) 郷土・行政資料の収集・保存、利用者への情報提供の実施	・関係団体等に協力を呼びかけ、郷土・行政資料を収集した。 収集資料 186冊 ・館内に情報提供ラックを設け、他課と連携し、市主催事業等の情報提供を行うと共に、関連する図書資料の紹介を実施した。 情報提供ラック件数 15件 ・「中村哲氏」や「船原古墳」関連など、市民の関心が高い古賀の郷土資料を常時展示するために、郷土行政資料コーナーの移設拡充を行った。
(3) 「第3次古賀市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、家庭・地域、読書ボランティア団体、学校等と連携した読書活動の推進	・第3次古賀市子ども読書活動推進計画に基づき、各事業を行った。 「子ども読書の日イベント」 中止 「おはなし会スペシャル」 中止 「ミニおはなし会」 4回 参加者数 48人 「小さい子のおはなし会」 3回 参加者数 31人（1月から再開） 「どようおはなし会」 6回 参加者数 73人（1月から再開） 「赤ちゃんおはなし会」 6回 参加者数 54人（1月から再開） 「ブックスタート」 9回 参加者数 182人（7月から再開） 「セカンドブック」 引換率 93%（516人/552人中）
(4) 「読書ボランティア養成講座」「暮らしの講座」「図書館まつり」等の事業の実施 詳細は、資料②の通り	・チラシや広報、ホームページ等で募集を行い、実施した。 「読書ボランティア養成講座」 中止 「暮らしの講座」 参加者数 30人 「図書館まつり」 イベント参加者 84人 「医療講座」 中止
(5) 福岡県内各公共図書館等及び国立国会図書館との総合ネットワークの活用	・公共図書館による相互貸借を活用した。 貸出冊数 1, 644冊、借受冊数 971冊 ・研究論文資料複写の依頼等、国立国会図書館との総合ネットワークの活用をした。
(6) 学校図書館市民開放用一般書の配本による学校開放支援	・新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。